3頁から5頁は、卒業生インタビュー

3頁、卒業生インタビュー

工藤　力也さん　（男子ゴールボール日本代表チームヘッドコーチ）

パリで開催されたパラリンピック２０２４において、ゴールボール男子日本代表が見事に金メダルを獲得しました。その立役者となったのが、当センターの卒業生で、代表チームのヘッドコーチを務める工藤力也さんです。金メダルを獲得するまでの長い道のりや、さまざまな思いを、じっくりうかがってみました。

センターに入所するまでの経緯や、きっかけを教えて下さい。

高校卒業後、バイクの免許を取得するために自動車学校で視力検査をした際に視力が低下していることに気が付きました。その後、大学病院で精密検査をした結果、レーベル遺伝性視神経症と判明。約一年間の引きこもり生活後、市役所の福祉課に視力センターの存在を教えていただいたことが入所のきっかけです。

センターで過ごした3年間はいかがでしたか？印象に残っている思い出や経験を教えて下さい。

入所前は不安ばかりでしたが実際に入所してみると同じような境遇の方が多く、つらいのは自分だけではないと思うことができ立ち直ることができました。特に目が悪くなったことで球技はもうできないと諦めていましたがグランドソフトボールやフロアバレーなどクラスマッチはとても楽しい思い出です。特にライフワークとなっているゴールボールとの出会いは私の人生を大きく変える出会いとなりました。

センターを卒業して、どんな活動をされてきましたか？

卒業後はゴールボール選手として日本代表になりたいという思いがあり、練習量を確保するためにデイサービスでアルバイトをしながら毎日のようにセンターの体育館で練習をしていました。そして2006年に現在の職場であるシーズアスリートへ就職し、2017年まで選手として活動してきました。そして現在は日本代表チームのヘッドコーチとして活動しています。

センターでの学びや経験から、役に立っていると思うことはありますか？

視力が低下した当初は『何もできなくなった』と下を向くことばかりでしたが、どのようなことでもやり方を工夫し一歩踏み出すことで、できることがあったり楽しいことがあると学びました。

挑戦せずに諦めるのではなく、挑戦の先に可能性があることを学びました。

写真　3頁目上部

パラリンピック2024男子ゴールボールの優勝を決めて選手と抱き合って喜ぶ工藤さん。

写真　３頁目右下部

那珂川市功労者表彰式

那珂川市長と並んで、手に表彰状をもって写真に写る工藤さん。

3頁目、以上です。

次の頁に続きます。

他のページも含む全体版は下記のリンクからご覧下さい。

[ファイルのダウンロード](https://www.rehab.go.jp/fukuoka/files/centernews128.docx)